



ジョイフル
VOL.75
2025.1.24 発行



新年のご挨拶



代表取締役社長 市川 滋乙 (重人)

明けましておめでとうございます。

昨年末は、正にコロナ禍が過去になったごとく、コロナ以前に戻った気がします。また気候も秋を飛ばしたかのように急激に寒くなり、かなりの寒暖差や世間の変化の激しい年越しでしたが、まもなく年明け時点にて、会社に勤める皆さまやご家族誰しもが健やかにのりきれたことに安堵しているとともに、本年もそのような状況が続くことを切に願うばかりです。その中でも年始正月の気候は晴天が続き、比較的暖かな気温となり、我々運送業にとっては、積雪をさほど心配することなく、今のところを過ごせております。年末年始の一段落感から来る気の緩みや、寒暖差による体調不良には気をつけていただき、晴れ晴れとした年始めにしていただきたいと思います。

さて一昨年は、世間的な物価高による給与水準やご環境への格差是正が広まった中、政治の不安定さによるトップ交代と選挙、米国中心とした国際社会の不安定さと大統領選挙とトップ交代がなされ、先行きがどちらに転ぶかわからない状況が続きました。

弊社の状況としましては、年末の終業式や賞与のコメントでもお伝えしたように、コロナ禍より引き続き、我々物流業の社会的価値が認められ、運賃や就業環境の改善や増収に繋がりましたが、人や管理に纏わる費用が増加し、利益的には厳しい状況が続いております。何より社会的価値、即ち社会生活や経済を回すというしごとに携わり、物流のプロとして働いてくれている皆さまにあらためて感謝申し上げます。

や、急激な変化・危機、そして新たな変化にも対応し、さらにより良く成れると確信しております。

昨今年を干支と例えれば、「辰・竜」ドラゴンズ同様、上昇（売上増）はしたが、結果が伴わなかった（減益）と思います。そこで今年の干支は「乙巳（きのと・み）」という年にあたり、草木がしなやかに成長し、新たな生命力（信用や利益）を蓄えることを意味するようです。また、巳（み）は「蛇」を象徴し、知恵と柔軟性、そして新たな可能性を秘めた変化（成長・発展）の象徴ともいわれます。来年度は、会社も記念すべき「70期」を迎えます。「永年（70年）成長してきた会社が、その経験や信用、知恵（しくみ・ノウハウ・フットワーク）を活かし、さら

そのような折、年が変わってもまだ厳しく寒い季節は続きます。健康管理と予防対策においては、気を緩めることなく、「自分のため、周囲のため」を念頭に、しっかりと意識継続してまいります。

これからは本年と未来の話に移りたいと思います。コロナ禍中に設立し3年目を迎えた「豊明営業所」と、新たに拡張とテナント倉庫を開設した「豊田営業所」は、自動車やリサイクル関連での新たな輸送の拡大と保管の獲得ができ、さらなる拡充が期待されます。そこに値上げ効

果等により、コロナ前の水準以上に戻ろうとする食品や、段ボール等の生活必需品関連も順調に推移していければ、さらなる飛躍につながる事が期待できます。その機会にむけて、会社としては、継続して若手社員・未経験者の採用の強化と、同時に働きやすい職場環境の整備と改善を進めていきます。またそのツールに繋がるIT化やデジタル化をさらに推し進め、しごとの効率化を目指していきたいと思えます。そこに、さらに良い変化、新たな人やモノ（車・営業所・職場環境 etc.）、組織（部門・連携・チーム）、しくみ（方法やノウハウ・ITデジタル etc.）が重なれば相乗効果となるでしょう。そして今後、ポストコロナ時代、物価上昇時代、人手不足時代、デジタル化時代等々のさまざまな時代

なる価値や可能性の向上に繋がる「年になることを予測させ期待させてくれます。近年改定した「南星 基本方針」の以前から、「信用を蓄積しよう」「利益を追求しよう」は永年掲げ続けている言葉です。70年蓄えてきた方針の歴史と価値を、この節目を機に発揮することができれば、個々の信頼や互いの信頼（尊重）に繋がり、ひいては組織・会社や社会・周囲（お客様・家族・同僚）の信用に繋がり、これからの永年の成長発展に繋がると信じております。本年も皆さま方の変わらぬご支援ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

